

授業のヒント

前回^{ぜんかい}は、日常生活^{にちじょうせいかつ}について話^{はな}したり聞^きいたりできるようになることを目的^{もくてき}とした授業^{じゅぎょう}の進め方^{すすかた}を取り上げました。今回はテーマ^{てま}として「食べ物^{たべもの}」を取り上げます。

テーマ 食べ物

目的・教えること
食べ物や料理 ^{りょうり} について聞 ^き いたり、話 ^{はな} したり、読 ^よ んだり、書 ^か いたりできるようになる。
学習者のタイプ
初級
クラスのタイプ
8人～20人
準備するもの
文字カード、絵カード、写真など

ここでは、次のようなことばや表現の練習をします。

A レベル (初級前半)

a. 食べ物・料理のなまえ

「肉」「魚」「キャベツ」「にんじん」「トマト」「きゅうり」「ハンバーグ」「てんぷら」「うどん」「てんぷらうどん」など

b. 形容詞

「甘い」「からい」「すっぱい」「にがい」「温かい」「冷たい」「おいしい」「まずい」など

c. 「～が好き／嫌いです」

d. 「～と～で (は) どちらのほうが～ですか」

e. 「～より～のほうが～」

f. 「～がいちばん～」

B レベル (初級後半)

a. 料理の動詞

「焼く」「煮る」「ゆでる」「揚げる」「切る」「むく」「温める」「冷ます」など

b. 「～前に／～後で」

c. 「～て／～ないで～」

教室で

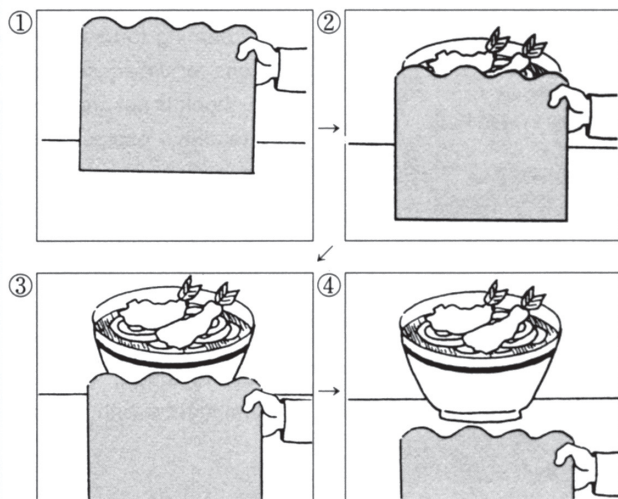
1. 食べ物のなまえ

最初に絵カードや写真を使って食べ物のなまえを練習します。取り上げる食べ物は、ふだんよく食べるものから、日本の食べ物、カタカナの食べ物など、学生のレベルや興味に合わせて選びましょう。少し練習してから、次のようなゲームをやってみましょう。

食べ物のなまえをあてるゲーム

教師は例1のように食べ物の絵カードや写真を少しずつ見せながら「何ですか」と聞きます。生徒はそれが何であるか答えます。

例1 [てんぷらうどん]



早くあてた人が勝ちです。他にも、いろいろな食べ物の絵カードや写真を使ってゲームをします。

2. 食べ物の説明 (形容詞など)

食べ物のなまえを覚えたら、それがどんな食べ物か説明する練習をします。Aレベルの場合は「あまい」「からい」などの形容詞の練習をします。まとめとして次のようなゲームをやってみましょう。

カードを組み合わせるゲーム

食べ物の絵カードと形容詞の文字カードを組み合わせるゲームです。3人から4人のグループで行います。

①例2のような食べ物や料理の材料の絵カードを各グループに10枚ずつ配ります。

②例3のような形容詞の文字カードを各グループに5



枚ずつ配ります。

③例4のように各グループで相談して絵カード1枚と形容詞の文字カード1枚を組み合わせます。

④一つできたら手を挙げて発表します。形容詞の文字カードは何回使ってもいいことにします。発表するときに「～は～です」のような文の形で言わせるようにします。

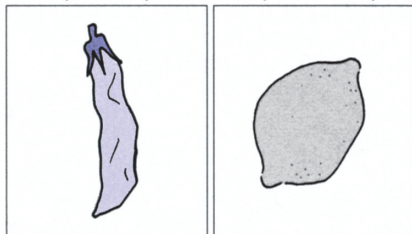
例2 [絵カード]



[アイスクリーム]

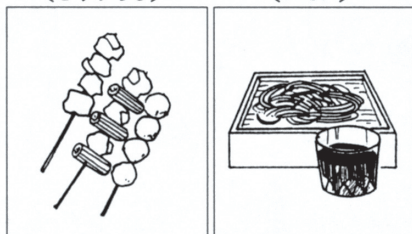
[チョコレート]

[ラーメン]



[とうがらし]

[レモン]



[やきとり]

[ざるそば]

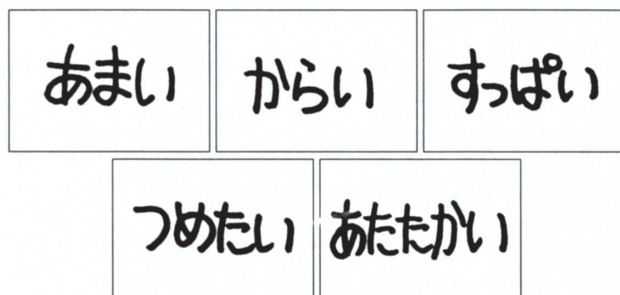


[パイナップル]

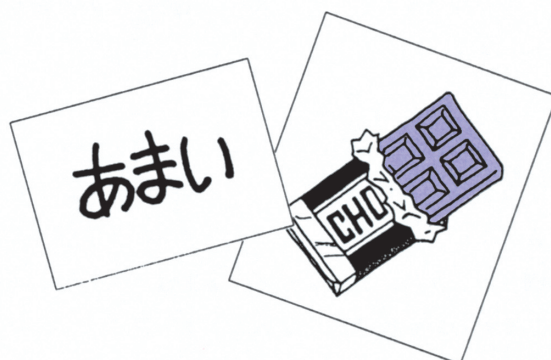
[カレーライス]

[うめぼし]

例3 [形容詞の文字カード]



例4 [組み合わせ]



「チョコレートはあまいです。」

▲複数のカードを組み合わせて、いろいろな文型の練習をさせることもできます。

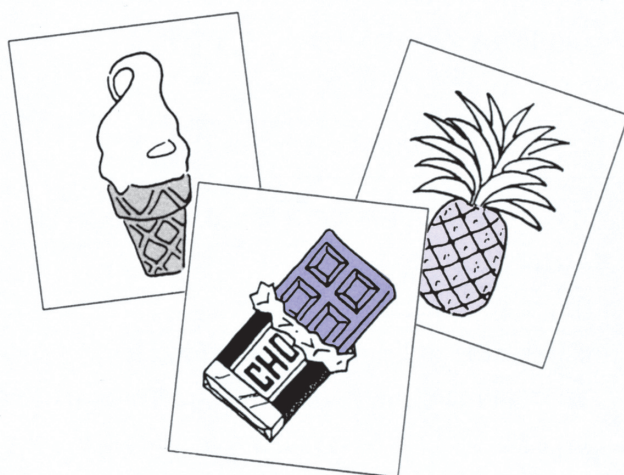
*絵カード2枚+文字カード1枚

——チョコレートもアイスクリームもあまいです。

*絵カード1枚+文字カード2枚

——アイスクリームはあまくてつめたいです。

▲Bレベルの場合、絵カードだけを10枚以上渡し、自由な組み合わせをさせることもできます。いろいろな共通点をさがして答える練習になります。個性的な組み合わせができると楽しい練習になります。



「どの食べ物もあまくておいしいです。ぜんぶわたしが好きな食べ物です。」